

法人（事業所）理念	助け合う事を厭わない仲間づくり					
支援方針	お子様それぞれの個性を大事にし、無理強いをせず日々の活動・遊び・学習などを通してコミュニケーション性、社会性などを学び、お互い助け合いながら楽しく過ごします。					
営業時間	平日	11 時 00 分	から	19 時 00 分	送迎実施の有無	あり
	土日祝日 学校休業日	9 時 00 分	から	18 時 00 分		
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p>健康状態の維持・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に心身の状態を把握するため毎回体温測定と気分把握(意思表示が困難な子ども含む)を実施します。 活動や遊び、お出かけの時間に粗大運動を取り入れ、体力や運動能力の向上を支援します。 学校がお休みの日は、お出かけを取り入れることで自律神経機能の向上や健康な発育を支援します。 水分補給やおやつ摂取による補水・摂食のトレーニングをします。 <p>生活のリズムや生活習慣の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の流れを変えないことで見通しが立つよう支援し、安心して過ごせるようにします。 1日のスケジュールを絵やイラスト、時計で分かりやすく掲示して、事業所での流れやリズムを認識しやすいようにします。 <p>基本的な生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 靴の着脱や、制服や衣服のお着替えを習慣化して、靴の着脱、着替えの技術獲得を目指します。 ソーシャルスキル・トレーニングを用いて支援します。 <p>(挨拶をする、感謝を述べる、人の話を聞く姿勢をつくる、支援者からフィードバックをする等の介助支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 乱れた衣服や容姿について改善を促し援助することで、身だしなみを整えることの習慣化を支援します。 おむつが外せるように、定時でのトイレ誘導やパンツでの生活支援等トイレトレーニングを支援します。 教室到着後やおやつ前、食事の前、トイレの後の手洗いを促し、手指衛生行動の習慣化を支援します。 				
	運動・感覚	<p>姿勢と運動・動作の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室内で運動具を使用した遊びを提供して、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図ります。 <p>姿勢と運動・動作の補助的手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者様の特性に合った支援方法を検討し、姿勢保持や運動、動作が行えるよう支援します。(感覚過敏を始め、利用者様の特性により、教室内での遊びが困難な場合、その特性に応じた対応方法を検討し、可能な範囲で体を動かして姿勢と運動・動作の向上を目指します。) <p>保有する感覚の総合的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 視覚、触覚、聴覚、固有覚、前庭覚等の基礎感覚を活用するため、指先を使った活動やボールを使った活動、ダンスの活動を取り入れます。 遊びや活動を通じて感覚の統合を促進し、場面や状況に応じて注意を向け、感覚の調整ができるよう支援します。 <p>感覚の特性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の感覚を理解・尊重し、安心して過ごせるよう環境の調整をします。 				
	認知・行動	<p>認知の発達と行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> 靴の着脱や着替え、トイレ、手洗いなど、利用者の特性を踏まえながら、繰り返し実践することを通じて日常生活動作の習得を支援します。 あいさつが習慣化できるよう繰り返し実践し支援します。 お片付けや帰りの会など、特定の音楽を流して、行動の習慣化を促します。 おやつを選ぶ時に、お金のおもちゃを使ってお金の計算ができるよう繰り返し支援を行います。 <p>空間・時間、数等の概念形成の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所で過ごす時間、利用者ど支援者が物の数を一緒に数える機会を設け、数に触れる機会を増やし数の概念獲得を支援します。 お金の計算や時計の読み方を活動に取り入れ、利用者の特性に応じながら習得を支援します。 利用者の特性に応じて、色の識別が必要な活動(色おに、塗り絵、色カードを使った手先の訓練等)を行い、色の認識と言語化を支援します。 教室内を広く使った活動(ボール、室内ゲーム、ダンス等)や事業所内でのボールや体を使った遊び、レゴや積み木等のおもちゃを利用した遊びを通じて、空間認知能力の習得、向上を目指した支援を行います。 生活の中で時間を意識付けられるよう、時間や時計の針の位置等で終わりの時間を周知して時計に従った生活ができるよう支援します。 <p>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日のスケジュール(時間、内容を文字やイラストで示したもの)を張り出し、時計を意識しながらスケジュールに従った支援を実施します。 遊びや活動を通じて様々な質感の道具に触り、感覚の取得・強化を図る支援を行います。 シール貼りや積み木、工作などの活動や遊びを通じて行動を経て物の状態が変わることを認知できるよう支援します。 日常生活動作の獲得、向上を目的とした技能訓練(組み立て、形、色に応じた並べ替え、袋詰め等、硬貨や紙幣のおもちゃを使ったお金の学習)の活動を通じて、適切な認知と行動の習得を支援します。 季節行事(お花見、七夕、プール遊び、ハロウィン、クリスマス、節分等)を開催して感性の形成を促す支援を行います。 室内ゲームの活動や遊びにおいて、ルールの順守や学年の違う子どもへの配慮を促し、集団における適切な行動形成の促進を図る支援を行います。 絵本の読み聞かせを実施して、聞く姿勢を取ることができるよう支援すると共に、読み手が読み方や読むスピードに強弱をつけて概念の取得を支援します。 掲示パネルや張り紙などを教室内に掲示して、視覚情報を通じて日常生活行動を主体的に実施できるよう支援します。 当日の天気を確認し、天気に応じた服装や遊びを判断できるよう支援します。 <p>行動障害への予防と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 自傷、他害や物を叩く等社会的に受け入れがたい行動が見られた場合は、応用行動分析の手法を用いてその行動に至った理由を見つけ、それに合った方法で適切な行動の習得を目指します。 				
	言語 コミュニケーション	<p>言語の形成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性に応じて絵カードやマカトンサイン、ボディランゲージを利用したコミュニケーションを実施し、利用者の意思を他者へ表示する方法の取得を支援します。 教室内の言葉の表記は漢字、ひらがな等複数の文字やイラストで表記して誰が見ても認知できるようにします。 教室内には自己紹介コーナーを設け、保護者から同意を得た利用者の自己紹介カードを掲示して、他の利用者が意識し認知できる環境づくりを行います。 活動や遊びを通じて、歩く、走る、止まるなど基本的な動作の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、認知した色の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、身体各部位の認識の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、方向の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、「速い」「遅い」など速度の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、大小の言語化を支援します。 活動や遊びを通じて、挨拶や依頼、感謝など社会性のある言葉の習得を支援します。 <p>言語の受容及び表出</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰りの会を当番制で行い、お友達の名前を発言したり自分の名前が呼ばれた際には返事をするものの習慣化を促し、コミュニケーションの基本スキルの取得を支援します。 発言する言葉を支援者が提示して発言を促し、状況に応じた適切な言葉を主体的に表出できるよう支援します。 <p>コミュニケーションの基礎的能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性に応じて言葉やボディランゲージ、マカトン等を活用しながら支援者に対して気持ちや要求を伝えることを通じて、意思伝達の楽しさや喜びを感じられるよう支援します。 <p>コミュニケーション手段の選択と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性に応じて、言葉やボディランゲージ、マカトン等、利用者に伝わる手段を用いて意思の伝達を実施します。 支援者は、支援時には言葉と併せてボディランゲージやマカトン等を利用して情報を伝え、利用者が利用しやすい手段で他者に意思表示できる環境を整えて支援します。 				
人間関係 社会性	<p>他者との関わり（人間関係）の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ができたことを言葉や態度で評価して、利用者が自尊心を高められるよう支援します。 大人や他の利用者の協力が必要な活動や遊びを取り入れ、対人意識の向上と他者への信頼感獲得を支援します。 SST(ソーシャルスキルトレーニング)を活用し、日常的なあいさつ、感謝を示す、人の話を聞く、順番を守る等、状況に応じて支援者が手本を示す、振り返りを行う、できたことを褒める等の支援を行い習得を目指します。 <p>自己の理解と行動の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動や遊びなど生活の中にSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、順番を待つことや、思い通りにいかない場合の対処の仕方を習得する機会を提供し支援します。 利用者に対して、確認する機会を設けて、利用者が嫌な事に対して「いい」と意思表示できる等、対処法を習得できるよう支援します。 <p>仲間づくりと集団への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動は、可能な限り集団で実施できる内容(集団ゲームやチーム戦等)を取り入れ、複数人で遊ぶことの楽しさを感じられるよう支援します。 集団で実施できる活動や遊びを通じ、役割やルール、他者との協調性を認識する機会を提供し支援します。 					

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のお困りごとがないが定期的に確認し、相談の機会を設け利用者ご家族が安心して過ごせる支援を行います。 ・支援中は、ご家族に休んでいただく時間と捉えて支援します。 ・ご家庭での子育ての一助となるよう、利用者の強みや特性をご家族と共有します。
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・手先を使った活動や時計の読み方、お金の数え方等の活動、遊び、外部施設への社会見学を通じて、進学や就労に向けた技術や知識、ルールやマナー等の獲得を目指し支援します。 ・利用者の特性や得意な事をご家族に共有し、移行先の相談援助を行います。 ・学校や他放課後等デイサービス事業者と一貫した支援を提供することを目的として、事業所内での様子や支援内容の共有等を行い連携を図ります。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や他放課後等デイサービス事業者、相談支援員と情報共有を行い、利用者が安心して過ごせるよう支援します。 ・利用者が通う学校行事や授業参観に参加し、地域交流を深めます。 ・他教室と共同で支援やイベントを実施し、交流を深めます。
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・身体拘束等適正化研修 ・BCP研修(災害・感染症) ・感染症対策研修・訓練 ・避難訓練 ・定期研修会
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣 ・節分 ・お花見 ・七夕 ・プール遊び ・ハロウィン ・クリスマス ・お誕生日会